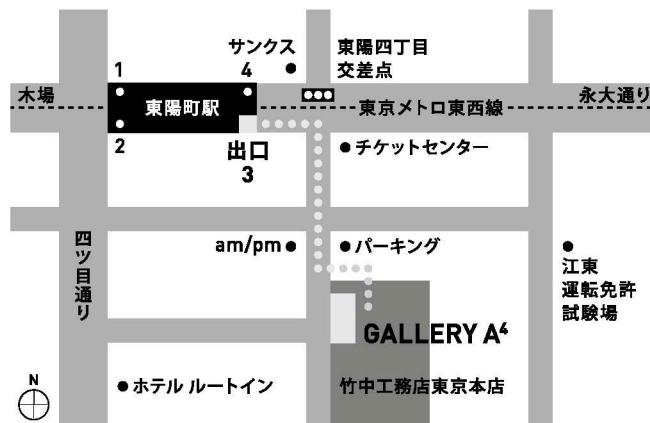


NEWS

AAF展が東京で開催されています

東京都江東区のGALLERY A⁴ (ギャラリーエークワッド)で「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展vol.2」が3月19日から4月16日まで開催されています。GALLERY A⁴では1期工事竣工後の2005年7月に「ヒマラヤの学校建設—AAFのNGO活動展」として展覧会が開催されましたが、昨年5月に2期工事が竣工し、また同年10月に国際石材建築賞を受賞したことを機に、第2弾として1期工事以降の活動の記録を紹介させていただくことになりました。工事中から竣工した建物、現在の学校の状況などを写真、図面と解説文によってパネル展示すると同時に、これまでAAFの活動が掲載された各国の雑誌や、書物の閲覧もできるようになっています。また1期工事から2期竣工までのプロセスを25分間にまとめたビデオ上映も行なっています。活動の経緯や現地の状況をよりリアルに感じていただけることだと思いますので、お近くにお立ち寄りの際はぜひご来館ください。（なお今年はGALLERY A⁴の開館5周年にあたり、AAFの展示は「GALLERY A⁴—5年間の活動を振り返って—」と題する展覧会の併設展として開催されています。）開館時間は10：00～18：00（最終日は17：00まで）、土・日・祝は休館、入場は無料です。



東京メトロ東西線「東陽町駅」下車、東出口3番より徒歩3分。



展示の様子

TOPICS1

西宮国際交流デーにてバザー・パネル展示を行いました

毎年2月、JR西宮駅前のフレンテ西宮で行われている、財団法人西宮市国際交流協会主催の西宮国際交流デーに、今年もAAFが出展しました。主に西宮を拠点として活躍するボランティア団体のバザー・展示、日本人や外国人によるパフォーマンス、着物の着付けやインターナショナルカフェ等さまざまな催し物があり、たくさんの方々が来場され、おおいに盛り上がりました。AAFは完成した2期の写真パネルの展示も含めた活動の紹介と、古着、パシュミナストールの販売等を行いました。

昨年に引き続いてAAFブースを訪れパシュミナストールを購入してくれた人や、活動について熱心に話を聞いてくれる人もおり、活動を理解していただくよい機会となりました。バザーでの売上、募金については学校建設費用の一部にあてさせていただきます。



AAFのブース

TOPICS2

「ブッダ・プライマリー アンド セカンダリー・スクール 2期」が雑誌「新建築」4月号に掲載されました

昨年5月に竣工した「ブッダ・プライマリー アンド セカンダリー・スクール 2期」が建築専門誌「新建築」4月号に掲載されました。写真と図面、解説文、工事概要などが11ページにわたって紹介されています。「新建築」では1期工事竣工後の2003年8月号でも活動の記事として紹介されましたが、今回は建築作品としての掲載です。このようにメディアによって紹介されることで開発途上国での現状についての理解が深まり、支援活動の輪がさらに広がってゆくことを期待したいと思います。

SITE REPORT

from Philim in NEPAL

*:撮影 畑拓(次ページも)

フィリムの2期工事竣工半年後の視察を行いました

2期工事の竣工から約半年経った11月、AAFメンバーが現地の視察を行いました。写真家の畠拓さんに同行をお願いして、2期工事（生徒用の寄宿舎3棟と食堂・便所）の竣工写真も撮影しました。真新しいスレート葺の屋根が、1期の屋根と連続して調和しつつも、きらきらと輝いています。現在学校の生徒数は総勢311名。そのうち遠隔地の村から選ばれた松浦基金奨学生の30名と自費で入寮している2名が、完成した寄宿舎（最大84名まで収容可能）で生活をしています。

寄宿舎は教室と基本的に同じつくりながら、2階建てベッドと勉強机を兼ねた収納棚を造り付けているのが特徴です。この収納棚はそれぞれの生活エリアを区分するパーティションの役割も果たしています。計画当初はフレキシブルな利用を想定して、特に個人のエリアを区分することは考えていましたが、工事中に先生たちから出されたアイデアが採用されました。

食堂は寄宿舎の付属施設としてだけでなく、学校や村のイベントにも対応可能な大きな空間として実現できました。屋根のトップライトの頂部に木製の装飾がとりつけられていますが、これは工事に携わった大工さんの意匠的な工夫によるものです。

学校の敷地内には植物や樹木が多く植えられ、なかには給食のために育てている作物も含まれます。AAFからの支援とは別に、学校の周囲に獣の侵入を防ぐための石垣を造ったり、教室の土間に石畳を敷き、貯水槽をつくったりと、自立的に運営している様子が多々見られるようになっています。

□ □ □

JNFEA（日本ネパール女性教育協会）との提携により、カニヤキャンパス・ポカラのさくら寮で教師になるための勉強を終えた2人の女性が、フィリムで教師になりました。ブルダニ先生(写真左)はゴルカ出身で2年前に赴任、ウルミラ先生(写真右)はフィリム出身で初のブッダスクール卒業の教師として、昨年赴任しました。2人ともとても熱心に教鞭をとっています。特にウルミラ先生のようにフィリムで育ち、村の実態や教育の必要性を肌身で感じている教師が今後も増えてくることで、この地域が近い将来自立していくことを期待したいと思います。また現在総勢で16名いる先生のうち、14名が村に下宿しています。優秀な先生を確保して教育の質を向上することに加え、下宿している子供たちの保護監督の意味でも、3期工事として計画している教師宿舎は重要な意味を持ちます。



グラウンド(1期敷地)より2期工事部分を見る *



食堂棟の屋根 *



寄宿舎内部 *



ブルダニ先生(左)とウルミラ先生(右)

COLUMN

Buddha Primary & Secondary School 2期工事のなかで際立って目を引くのは、なんといっても円形の食堂です。この地域に円形の建物は存在していないため、技術的に心配をしていたのですが予想以上の出来栄えです。高い屋根の頂部にはトップライトを設置しているので十分な室内の明るさを確保できました。これは日本の建物の形式ですか？と尋ねられ、思わず笑ってしまうのでした。朝晩2回、宿舎で生活する子供たちがコックを手伝って食事を準備します。子供たちがごはんのお皿を両手に運んできて着席すると、差込む朝日の中ごはんの湯気が立ちのぼりました。「ミートザ？（おいしい？）」と声を掛けると、少女は恥ずかしそうにうなずきました。

遠隔地から寄宿舎への入寮希望者は大勢いるのですが、食事代を支払うことができない家庭が多く、思うように生徒が集まっているのが現状です。急激なインフレにより、奨学金を原資とする食費のやりくりにも大変な苦労をしています。寄宿舎の子供たちは相変わらず勉強熱心です。深夜寄宿舎を訪れてみると、やはり各々灯りを手にして勉強をしていました。5年前はロウソクや豆電球の懐中電灯しかなかったのですが、



今ではLED式の懐中電灯や電卓を持っている子供もいます。フィリムにも着実に時代の変化が訪れています。2009年のSLC（大学共通入試）も、学校から受験した11名全員が合格したとのことです。1期開校以来、受験失敗した生徒は1人もでていません。Buddha Primary & Secondary Schoolは、もはやネパールの進学校といってよいでしょう。

AAFメンバー 山本拓治



AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

1998年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に発足した民間ボランティア団体です(2000年にAAFと改名)。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

AAFの活動と実績

- 2003.04 ネパールのフィリムに'Buddha Primary&Secondary School'竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう！建築家のボランティア奮闘記」(彰国社)を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動—ヒマラヤの学校建設—」展を開催(ギャラリー エークワッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤ・キャンパスポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出演
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィリムの学校、ポカラの「さくら寮」がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08 フィリムの学校が韓国の建築雑誌'C3'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出演
- 2008.10 フィリムの学校がタイのデザイン雑誌'art4d'に掲載
- 2009.05 フィリムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 フィリムの学校が第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展 vol.2」を開催(ギャラリーエークワッド/東京)
- 現在3期工事(寄宿舎2棟、教師宿舎棟)に向けて支援活動継続中

INFORMATION

アジアに学校等をつくるための 寄付にご協力ください

AAFは、学びたくても学ぶことができないアジアの子供たちのために学校と寄宿舎等の教育関連施設をつくるボランティア活動を推進しています。皆様のご協力により、2003年に開校したネパール・フィリム村のBuddha Primary&Secondary Schoolの隣接地に第2期工事として遠隔地から通う子供たちのための寄宿舎3棟と食堂棟、便所棟が2009年5月に竣工いたしました。

現在3期工事として寄宿舎2棟、教師宿舎棟を計画中ですが、この地域の開発とともに人件費が年々高騰し、全て完成させるためには、現時点であと約500万ルピー(約600万円)の建設資金が必要となっています。皆様のさらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

>>>寄付の方法

払込取扱票の通信欄に「寄付」とご記入の上、郵便振替にてお振込ください

AAFへの郵便振替は下記口座にお願いいたします

>>>口座番号:00910-0-64819

>>>加入者名:AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

編集後記

カレンダー寄付等ご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。

日本では桜咲く春ですが、ネパールも4月からが新学期です。新1年生が喜んで通う様子が目に浮かびます。 T

AAF NEWS

VOL.6

2010
SPRING

ご協力をいただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

NEWS

TOPICS1

西宮国際交流デーにてバザー・パネル展示を行いました

TOPICS2

「ブッダ・プライマリー アンド セカンダリー・スクール2期」が雑誌「新建築」4月号に掲載されました

SITE REPORT

フィリムの2期工事竣工半年後の視察を行いました

COLUMN

AAF PROFILE · INFORMATION

AAF Asian Architecture Friendship



NEWS

AAF展が東京で開催されています

東京都江東区のGALLERY A⁴ (ギャラリー エーキュアード) で「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展vol.2」が3月19日から4月16日まで開催されています。活動の経緯や現地の状況をよりリアルに感じていただけることと思いますので、お近くにお立ち寄りの際はぜひご来館ください。

>次ページに詳細を掲載

2期工事で完成した食堂で食事をとる子供たち。スプーンは使わず右手で食べるのはネパール流